

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 会津支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	高等部生徒(通常・重複クラス 75人、教員30名) 中学部生徒(生徒 10名) 小学部生徒(児童 5名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名【保健体育(高等部)】 【生活単元学習、総合的な学習の時間(中学部)】 【生活単元学習(小学部)】 ② 行事名【学園祭(パワー祭り) 広報活動】 ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	・2021年オリンピック・パラリンピック競技の開催地として多様な文化を受け入れて、人々が互いに人権を尊重し合い、共生社会の実現を目指すため、障がい者スポーツの体験学習及び実技講習会を実施し、理念を具現化する。 ・会津のレガシー(文化や伝統)を一人一人の心に継承する活動を目指していくこと。
5 取組内容	・オリパラ推進委員会では、過去2年間、本校の生徒や教員、他校の生徒との交流学习を中心に、障がい者スポーツであるボッチャ競技について講習会や競技の実践をとおして、地域に向けて発信しながら障がい者スポーツの理解と共生社会の実現に向けた取り組みを行ってきた。 今年度にあたっては、コロナ禍の状況もあり、3密を避けるなどの必要な対応をしながら、「会津のレガシー(文化や伝統)を一人一人の心に継承する活動」を目指していくことを目標として取り組みを行った。 【コロナ禍の対応として】 ①3密を避けながら、その時々状況を加味して実施 ②最小の単位(クラスでの実施)を基本として実施。 ③集団で行う場合は、体育館などの広いスペースで実施する。

【小学部】「地域を知る①～学校周辺～」

「みつけにいこう」

1) 学校の周辺探索

- ① 4月 春をみつけよう
 - ・公園まで歩き、花や木の観察をする。
- ② 6月 道路の歩き方・標識
 - ・横断歩道の歩き方を知る。
 - ・信号機や道路標識・看板を見つける。
- ③ 7月 雨の日のようす
 - ・カッパを着て歩く。
 - ・アジサイやカエルを見つける。
- ④ 7月 初めて歩く道
 - ・学校の近くにお地藏さんや畑・花道を発見する。
 - ・店を見つける。
- ⑤ 10月 秋をみつけよう
 - ・どんぐりを拾う。
- ⑥ 11月 秋をみつけよう
 - ・まつぼっくりやどんぐりを拾う。
- ⑦ 11月 お店で買い物をしよう
 - ・公共施設の利用の仕方を知る。
- ⑧ 12月 雪道を歩く
 - ・冬の寒さを感じる。
 - ・ポストを探して年賀状を出す。



2) 事後学習

- ① 見つけたものを写真で確認し、カードを作る。
- ② 地図に貼る。



3) その他

- ① 教室内に掲示し、常に確認ができる。
- ② 休み時間に思い出を振り返る。

【中学部】2年5組（4名）

「地域を知る②～会津のレガシーを探る～」

「会津について知ろう」

- ① 5月・市町村について
- ② 6月・伝統工芸品について
- ③ 7月・観光名所、郷土料理について
- ④ 8月・ご当地キャラクターについて
- ⑤ 9月「奥会津について調べ学習」
 - ・校外学習で体験する
 - 1) 粟饅頭づくり
 - 2) 仏閣見学
- ⑥ 10月 まとめ、校内発表（パワー祭り：学園祭）



※校内発表の様子

提示スペースを使用して校内発表を行った。小、中、高の保護者にご覧になっていただいた。



2年6組（6名）

「会津地域を調べよう」

～只見線沿いの市町村を調べよう～

①6月 どんない市町村があるのか調べてみよう。

②7、8月

自分の興味関心のある市町村を選択する。

- ・選択した市町村の特色について調べる。
- ・学習のテーマを決定する。

③9月 クラス内で発表する。

※自分が調べた市町村の歴史や文化などの特色について、発表する。

④10月 「只見、奥会津について調べよう」(体験学習)

- ・栗饅頭づくり
- ・仏閣見学
- ・まとめ
- ・発表



【高等部】「地域を知る③～伝統文化に触れる～」

「なぎなたを体験しよう」

1) 事前学習

・なぎなたのルールや道具についてインターネット上の動画を見て学習した。



2) なぎなたの講師を招き、なぎなたの体験を行った。

① 令和2年9月29日(火)
(9:30~15:00)

② 場所 会津支援学校
体育館

③ 活動内容について

- ・なぎなたの道具について
- ・礼法指導
- ・足さばきや型の実践
- ・2人一組で打ち方や守り
方の実践

・まとめ

3) 事後学習

・活動の振り返り及び講師へのお礼のメッセージ記入。



6 主な成果

【小学部】

○児童は、学校周辺の公園や近隣の大学に行く経験の中で、近くにある場所や、目にしていた道でも認識していないものが多

	<p>かった。</p> <p>○「みつけにいこう！」を合言葉に探索しながら歩くことで、学校の近くに様々な店や看板があることを知った。</p> <p>○生き物や植物、季節による変化にも触れることができた。様々なものを発見する経験を通して、さらに見つけたいという意欲が高まり、探索しながら歩くことができるようになった。</p> <p>○学校周辺の地域を学ぶことができた。</p> <p>【中学部】</p> <p>主な成果としては、</p> <p>○会津の歴史や文化または、自分が住んでいる地域や自分が調べた市町村について興味・関心が高まったこと。</p> <p>○学習を通してクラスの仲間や友達とのコミュニケーションが増えたこと。</p> <p>○現地に行って体験・体感することで達成感ももてたこと。</p> <p>○調べたことについて周囲の方に「伝えたい・知ってほしい」と感じたこと</p> <p>【高等部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいをもつ生徒たちは、大多数がこれまでなぎなたを体験する機会がなかった。今回、日本を代表するような地元の講師を招き、実際になぎなたに触れて体験しながら活動できたことで、なぎなたについての興味・関心を深め、理解を進めることができた。 <p>以下、講師へのお礼のメッセージで上記についての根拠となるメッセージを一部抜粋する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しく活動することができた。 ○また(なぎなたを)体験したい。 ○わかりやすく教えてもらってありがとうございます。またやってみたいです。 ○また教えに来てください。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を積み重ねていく中で、児童が分かりやすいように、調べた内容を色分けしてまとめた。 ・児童が見て分かりやすいように、教室内に学校周辺の地図を作って掲示したこと。(事前、事後学習などの振り返りの時に児童同士のコミュニケーションが自然に図られる場面も見受けられた。) ・学校周辺の地図にのっていない農道やあぜ道などを散策したことで、普段気付かないような看板や建物、植物など見つけることができた。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用して調べ学習を行った。生徒が理解しやすい言葉に変換しながら文の作成をおこなったが、理解が難しいところもあった。そこで市町村から出されているパンフレットからの情報を活用したことで、生徒が理解できる内容が増えた。 ・全国の有名なキャラクターを写真カードや絵カードを作って分かりやすく紹介した。生徒の反応も良く興味関心を持つこ

	<p>とができ、身近なキャラクターについて意欲的に調べることができた。</p> <p>【高等部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元で、なぎなたの第一人者である講師を招聘して、流麗な動きの演武を参観した。それを手本とすることでなぎなたの良さを実感することができた。 ・本校の生徒は、具体的に動くことで理解できるという特性があることを講師に伝え、活動時間をより長くとする工夫をした。その結果、なぎなたへの興味関心が高まった。
8主な課題等	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路上の安全面の確保。 ・今年度は感染症対策が強いられ、校外での活動や公共施設の利用に制限があった。対策を踏まえた上での活動の広がりを図っていきたい。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学部では、コロナ禍の現状の中ということもあり、現地に行って体験や体感する機会が少なく、学習したことを今後どのように広げ、伝えていくことができるのか課題である。 <p>【高等部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぎなたを生徒数分揃えること。 ・活動時間が限られていたため、さらなる技術習得・興味関心を深めるためには、まとまった時間を確保したり、分けて体験したりする必要があること。 ・なぎなたについての知識が少ないため、しっかりとした事前学習を行うこと。 ・なぎなたの競技の特性から広い活動場所が必要であること。
9来年度以降の実施予定	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺から、公共の乗り物を利用して地域を知ったり、地域の公共施設の利用の仕方を経験したりして、活動の幅を広げていきたい。 ・小学部全体で行える活動を通して、(例：運動会など)一つのテーマに沿って取り組めるよう計画している。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会実現を目指して、パラスポーツやユニバーサルスポーツのルールや行い方、楽しさなどを地域の方々に理解していただける機会をつくり、障がい者と健常者の相互理解を深めることができるような活動を予定している。(交流学习など) <p>【高等部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や教員の評価やニーズが高かったことから、次年度以降もなぎなたを体験し、地元の文化・レガシーについて理解を深めていく機会を設けていきたい。